

# 事後評価 計画名称 1 熊本都市圏の拠点性向上に向けた都市空間の形成

## 1-1 熊本都市圏の拠点性向上に向けた都市空間の形成（防災・安全）

【事業主体】

熊本県、合志市、宇城市、菊陽町、御船町、益城町、甲佐町、宇土市、大津町



### 計画の目標・計画期間

平成23年春の九州新幹線開業効果を最大限に発揮するため、道路交通ネットワークの充実や関連施設の整備等を促進し、慢性的な交通渋滞の解消や観光交流の促進を図るとともに快適で品格ある都市空間を形成することにより、熊本都市圏の拠点性を向上させる。

[平成21年度～平成25年度（5箇年）] 【H25.3.31廃止】

H21	H22	H23	H24	H25
1 熊本都市圏の拠点性向上に向けた都市空間の形成				廃止
		切り出し	1-1 熊本都市圏の拠点性向上に向けた都市空間の形成(防災・安全)	廃止

道路利用者

バイパスを“約4km”整備し、道路利用者の利便性が向上

現道拡幅を“約1.1km”整備し、車両のスムーズな通行を確保

橋梁架替を“1.2橋”整備し、道路利用者の安全・安心の通行を確保

### 要素事業の進捗状況

#### 1 熊本都市圏の拠点性向上に向けた都市空間の形成

単位:箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考
				完了	継続	
A: 基幹事業	県	道路改築	6	6	3	3 バイパス、現道拡幅等
	市町村	道路改築	63	62	42	20 バイパス、現道拡幅、橋梁架替
B: 関連社会資本整備事業	県	公園事業	1	0	0	0 公園事業
	市町村	調査、植栽等	2	0	0	0 交通実態調査等
C: 効果促進事業	県	調査、植栽等	2	0	0	0 交通実態調査等
	市町村	標識設置等	2	2	1	1 誘導標識設置等

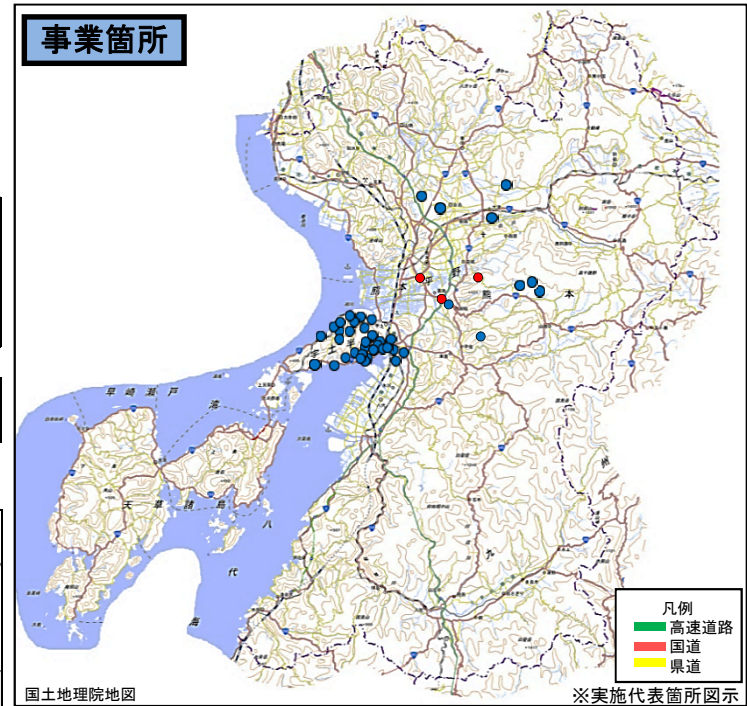
#### 1-1 熊本都市圏の拠点性向上に向けた都市空間の形成(防災・安全)

単位:箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考
				完了	継続	
A: 基幹事業	市町村	道路改築	2	2	2	0 現道拡幅

### 目標達成状況

指標①	計画の成果目標	交通渋滞が都市圏内の社会経済活動に与えている損失額（渋滞損失額）を1,736百万円（H21）から847百万円（H25）に削減。		
	定義及び算定式	熊本都市圏の交通実態調査により、事業前所要時間及び計画所要時間データ等を分析し、都市圏内の渋滞損失額を算出する。 (都市圏内の渋滞損失額) = Σ ( ( 現況移動時間 - 整備後の計画移動時間 ) × 時間交通量 × 平均乗車人員 × 時間評価値 )		
	達成状況	バイパス整備については、国道445号・御船バイパスほか7箇所の整備を完了し、現道拡幅については、国道266号・城南拡幅ほか24箇所の整備を完了したが、計画していた事業の進捗状況等により、交通渋滞が都市圏内の社会経済活動に与えている損失額削減の目標を達成できなかった。	当初現況値 (H21当初)	最終値 (H25末)
指標②	計画の成果目標	熊本都市圏の通学路において、快適で安心して歩ける円滑な歩行空間の割合（快適歩行空間率（%））を56.8%（H21）から58.8%（H25）に向上。		
	定義及び算定式	通学路総延長に対する、道路（歩行）空間の整備延長の改善効果を算出する。 快適な道路空間の整備率（%）= Σ（整備延長） / Σ（通学路延長）		
	達成状況	H24年度に新たに設けた7ヶ所指標の目標値のため、平成24年度に計画していた事業の進捗状況等により、熊本都市圏の通学路において、快適で安心して歩ける円滑な歩行空間の割合向上の目標を達成できなかった。	当初現況値 (H21当初)	最終値 (H25末)
			目標値	実績値
			1,736百万円	847百万円
			-	1,029百万円
			56.8%	58.8%
			-	57.5%



### 今後の方針

九州中央自動車道IC7ヶ所道路の国道443号（小池工区）やバイパス事業の県道田代御船線（上野工区）及び現道拡幅事業などの早期整備効果発現のため、H25年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期完了に努める。